

県内初、圏央道初の 「ハイウェイ・オアシス」を 目指します


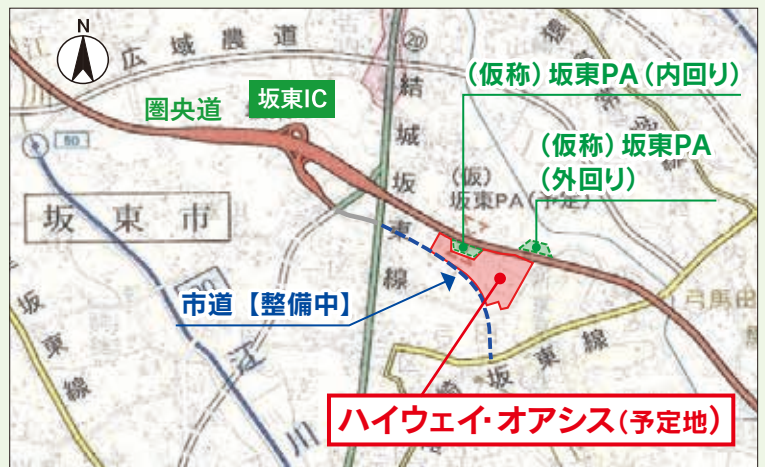
圏央道で整備が進められている(仮称)坂東パーキングエリアとの一体的な整備を計画している「坂東市地域利便施設」について、坂東市の魅力を県内外に発信するなど、より高い整備効果が期待できる「ハイウェイ・オアシス」としての整備を目指し、やすらぎのある安全・安心な地域活性化拠点づくりを進めていきます。

「坂東市地域利便施設」については、現在、「坂東PA関連事業に関する検討委員会」等の協議を経て策定した坂東市地域利便施設基本計画(※次ページ掲載)に基づき、事業を進めています。本格的な事業実施に向けて、パーキングエリアへの接続方法など事業の進め方について、国、県、高速道路会社等の関係機関と協議を重ねてきました。令和5年3月開催の「地域拠点整備事業推進協議会」では、基本計画で示した整備の方向性、整備方針等を踏まえつつ、坂東市の魅力を県内外に発信し、より高い整備効果が期待できる事業として、

県内初、圏央道初となる「ハイウェイ・オアシス」整備を目指し、その実現に向けた協議が行われました。引き続き、国の「ハイウェイ・オアシス」事業承認に向けた協議を進めるとともに、具体的な整備にあたっては、「坂東PA関連事業に関する検討委員会」等による関連団体の意見を取り入れながら、国の交付金および民間企業の企画・経営能力も活用検討するなど、圏央道の整備効果を最大限に活かし、広域防災機能も備えた、やすらぎのある安全安心な地域活性化拠点づくりを推進していきます。

ハイウェイ・オアシスとは？

ハイウェイ・オアシスは、サービスエリアやパーキングエリアと都市公園などを一体的に整備することで、高速道路を出ることなく、公園などの潤いスペースを利用することができるなど、お互いの施設を容易に利用することができ、都市公園の利用増進や相互交流など、高い相乗効果が期待できる施設です。

▲周辺の地図

現場のようす(令和5年春撮影)▼

